

2年次後期・必修

1単位・15時間

---

---

**【概要・目的】**

本科目は、薬物を臨床応用するための基本的な薬理作用の概念が理解できるようになるために、すべての薬物に共通する生体と薬物の相互作用について学ぶことを目的とする。

---

**【到達目標】**

- 1) 薬の種類、有効性、安全性が理解できる。
  - 2) 薬の作用点と体内動態が理解できる。
  - 3) 抗感染症薬、抗腫瘍薬の種類と作用機序が理解できる
- 

**【内容・スケジュール】**

薬理学総論

- 1) 薬とは？、薬品名
- 2) 薬物の作用点、薬物の投与経路
- 3) 薬物の体内動態・薬効に影響を及ぼす因子
- 4) 薬の相互作用・有害作用、医薬品と法令

薬理学各論（1）

- 5) 抗感染症薬
  - 6) 抗がん薬
  - 7) 免疫治療薬
  - 8) 抗アレルギー薬・抗炎症薬
- 

**【評価】**

筆記試験（85%）、出席状況および参加態度など（15%）

---

**【教科書】**

吉岡充弘 他：系統看護学講座「薬理学」医学書院

---

**【推薦参考図書】**

田中千賀子 他：「NEW 薬理学」南江堂  
野元正弘 他：「薬がみえる vol.1」Medic Media  
弘世貴久 他：「薬がみえる vol.2」Medic Media  
福本陽平 他：「薬がみえる vol.3」Medic Media

---

**【その他】**

メールアドレス tomoen@wakayama-med.ac.jp